

第8回 戦争体験講演会

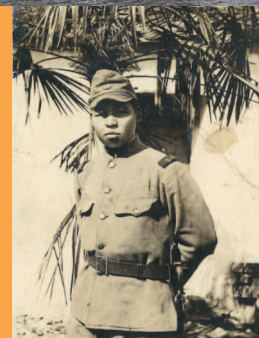
戦争体験者による体験談、朗読、ドキュメント映画を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝えていきます。



焼野原の隅田川兩岸



次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ



ベトナム残留兵であった
綱河忠三郎氏と興安丸

日 時 令和7年3月15日(土) 13:30 ~ 16:25 (受付13:00 ~)

会 場 小美玉市生涯学習センター コスモス 集会室

定 員 70名(先着順)



入場無料

申込方法 電話・インターネット

←申込フォームはこちら

申込期間 令和7年2月21日(金) 9:00 ~ 3月11日(火) 17:00

主催 太平洋戦争の体験を伝える会
小美玉市教育委員会

協賛 美野里ライオンズクラブ

協力 こぶけやきの会

申込・問合せ先

小美玉市生涯学習センターコスモス ☎0299-26-9111

〒311-3433 茨城県小美玉市高崎 291-3



【交通案内】
常磐自動車道千代田石岡 IC から約25分

タイムスケジュール

13:30 ~ 13:50 開会のことば／主催者等挨拶および来賓挨拶

13:50 ~ 14:30 吉田 由美子 (83)
「東京大空襲の孤児として」
～3才から変えられた人生～

1945年3月10日、東京大空襲で家族3人を失い、3歳で戦災孤児となりました。自宅にいた両親と生後3か月の妹は行方不明となり、遺骨も見つかっていません。親戚に預けられた幼少期は、つらい思いから顔からは笑顔がなくなり、無表情な子どもになってしまいました。

14:30 ~ 14:35 休 憩

14:35 ~ 15:15 次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ
「ある紙芝居屋の物語」

1945年8月2日未明。水戸市の市街地は、B29による空襲で火の海と化していました。紙芝居屋のおじさんは迫り来る炎の中を生きるために走り続けています…。紙芝居屋のおじさんの目を通して見た「戦争」のお話です。

15:15 ~ 15:25 休 憩

15:25 ~ 16:25 添野 江実子
「私の父もそこにいた」
～証言によるベトナム残留兵の存在～

父たち600人に及ぶ日本兵は、終戦後もすぐには帰国せず、ホー・チ・ミン氏と共に9年間、第1次インドシナ戦争に貢献していたことが分かりました。昭和29年11月30日、引揚船「興安丸」が舞鶴港に着きました。その時の集合写真の中に父がいたのです。父はベトナムに残り、どこで何をしていたのか。真実が知りたい、父の足跡探しが始まりました。

※都合により、講演内容などが変更となる場合があります。

太平洋戦争の体験を伝える会とは

太平洋戦争終結から70年の節目を迎えた平成27年に戦争の悲惨さなどを後世に語り継いでもらいたいと、小美玉市在住の戦争体験者などによって発足した会です。現在はその意志を引き継いで活動しています。